

学校法人東京聖栄大学 令和2年度事業計画

令和2年度は、新たに策定した『学校法人東京聖栄大学 第Ⅲ期中期計画（2020-2024）』の初年度であり、副題として掲げた「～ 夢を育み個性を育てる学園の基盤強化 ミッション ～」を全分野にわたり推進し、数値化した目標については数値目標の達成に向けて、経営層・教職員が一丸となり努力してまいります。

また、全国的に被害が発生した大型台風の襲来、河川の氾濫等を教訓として、「水害対策」を検討・実施してまいります。

<令和2年度 全体重点事項>

- 1 『学校法人東京聖栄大学 第Ⅲ期中期計画（2020-2024）』の推進（初年度）
- 2 ステークホルダーからの評価の重視
- 3 認証評価受審における課題解決に向けた取組みの推進
- 4 水害対策の具体的取組み

<各部門別事項>

1 東京聖栄大学

学園の中核をなす東京聖栄大学は、平成30年度に受審した大学機関別認証評価（第三者評価）での認証を得るとともに、今期卒業生の大多数が学科の学びを生かした就職先への内定を得るなど、社会からの信頼を確立しつつあります。

今後も中央教育審議会答申『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン』に記された、「具体的な職業やスキルを意識した教育を行い、高い実務能力を備えた人材を養成」することを念頭に置き、教育の質の保証と向上に取り組んでまいります。

- ・教育の質の保証と向上に向け継続した取組みを推進する。
(FD活動、自己点検活動とPDCA、学修成果の把握と公表、丁寧な学生指導 等)
- ・適切な教員組織編制と継承性の確立努力
- ・ステークホルダーからの評価の重視
(卒業時学生満足度調査、学修行動調査、学生調査、意見交換会、学生パブリックコメント制度、保護者との連携・意見交換、社会貢献・地域貢献 等)
- ・就職活動支援、各種資格取得支援（学生の主体的努力を踏まえた指導・支援）
- ・管理栄養士国家試験指導（高い合格率の維持）
- ・新たな「高等教育修学支援制度」に基づく学生支援の適切な実施
- ・定員確保努力の継続、適正な入試の実施
- ・学長リーダーシップに基づく大学運営と補佐体制（大学運営会議）

2 附属学校

1) 調理師専門学校

- ・生徒募集努力
(ホームページ・SNSによる情報発信の強化、既卒者・社会人・外国人等を対象とした夜間個別相談会の開催による幅広い入学生の募集努力 等)
- ・専門学校案内書の刷新(本校の魅力を訴求します)
- ・学校評価(自己評価、学校関係者評価)の組織的取組みにより、学校運営、教育活動の向上を図ります。
- ・卒業生との連携、魅力ある調理師の養成を推進します。
- ・東京聖栄大学との連携を推進し教育内容の充実を図ります。
- ・施設の適切な維持管理

2) わたなべ幼稚園

近隣における幼児人口の激減、保育無償化によると思われる保育園への傾斜、教員募集・人材確保が困難な状況、等の厳しい環境下ではありますが、「わたなべ幼稚園を選んで良かった」との評価をいただけるよう、保育の信念を持って温かく子どもたちに夢を与え続けられる幼稚園づくりを進めます。

- ・働く保護者のバックアップ(預かり保育の充実)
- ・満3歳児保育への対応(混合・2クラス編成)
- ・安全でおいしい手作り給食の実施、保護者へのアピール
- ・「食育」の推進(大学との連携)
- ・園児の安全安心と保育の質確保のための適正な人員配置(補助教員を含む)
- ・施設の適切な維持管理

3 管理運営

- ・理事会による学園全体のガバナンスと適正運営
- ・健全な財務の維持
- ・幼稚園改築のための将来所要経費 積立ての継続(2号基本金及び減価償却費)
- ・ファイアウォール更改、UPS(無停電電源装置)更改等、学内LAN環境の整備
- ・法令遵守(各種法令等に沿った規程整備 等)

4 水害対策の検討と実施

水害を想定し、①高額な測定機器・実験機器類の移設(1階→2階以上)、②受電設備のかさ上げ、③備蓄品の見直し・補強、等を鋭意検討し実施します。

以 上